特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド 2004 年度事業報告書 2004 年度 (2004 年 4 月 1 日~2005 年 3 月 31 日)

前年度に行った初助成の結果を広く発信し、ファンドの認知を高め、更なる協力を呼び掛けるために様々な取組みを行いました。県内の野球球団「横浜ベイスターズ」のご協力で、ファン感謝デーでのPR活動や募金活動、また、子どもの育ちを見つめ、社会で支えて行く意義を伝えることと併せて、寄付協力の機会をつくるチャリティイベントにも取り組みました。これらは、各種団体の協力で共催としたり、神奈川子ども未来ファンド(以下、ファンド)サポーターや助成対象団体の協力を得るなどして取り組むことができました。

多くの方々のご協力のお陰で、2度目の助成として2005年助成の公募・選考を行い、総額200万円を8団体へ助成することができました。子ども・若者や子育てにかかわる人に、具体的に集い、相談等ができる「場(機会)」の存在を伝え、多くの方々にNPOの活動実態を知っていただくために広報紙発行やデータベース「子どもの居場所情報箱」開設にも取り組みました。

1 各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ

(1) 2004 年度の寄付協力

今年度は既存のプログラムの継続実施に加え、郵便局口座の自動払込による定期定額寄付(コーヒー募金)の開始を始め、個人向けの寄付プログラムづくりに取り組んだ他、企業・組合などの組織向けに提案できる寄付メニューづくりに着手しました。継続した寄付プログラム開発のために、組合・企業・各種組織との関係づくりに努めました。

- ◆2004 年度寄付総額:¥3,612,481 (內訳後述)
- ◆寄付協力組織数:63
- ◆コーヒー募金登録・個人寄付件数:79

(2) イベントの実施・参加

様々な組織のご協力、ご協賛を得て、子どもの育ちを考える機会、親子で楽しめる機会など、プログラムへの参加に併せて寄付ができるチャリティイベントを開催しました。また、多くの人が集まる機会に出店や展示参加を行い、広く市民や企業、組合などにファンドの認知を高めるよう取り組みました。

① チャリティ映画上映会「ハードル」

●開催日程: 2004年8月25日(木)午前・午後2回上映

●会 場 : 横浜市港北公会堂於

●参加者数: 250名(のべ)

●主 催 : 横浜北YMCA、神奈川子ども未来ファンド

●共 催 : 港北区福祉保健センター

●後 援 : 横浜市、港北区社会福祉協議会

●協 賛 : ㈱アリタ、神奈川福祉事業協会、キリンビバレッジ㈱

2 ブレーメン・オータムフェスタ (ブース出店)

●開催日程: 2004年10月10日(日)

●会場: モトスミ・ブレーメン通り商店街

●出店内容: PR活動、アートバルーン釣り(強力:守屋隆氏)、現物寄付の電球販売

●主 催 : モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合

3 ベイスターズフェスタ (PR・募金活動参加)

●開催日程: 2004年11月23日(火・祝)10~14時

●会 場 : 横浜スタジアム

●参加内容: PR活動、チャリティ入場募金・会場募金活動

●主 催 : ㈱横浜ベイスターズ、㈱横浜スタジアム

4 親子で happy! 横浜フェスタ 2005

●開催日程: 2005年1月15日(土) 14~16時

●会 場 : 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

●出 演 : アツキヨ・だるま森・木村真紀・守屋隆

●参加者数: 350名(のべ)

●主 催 : (財) 国際障害者年記念ナイスハート基金、(社福) 横浜市リハビリテーション事

業団障害者スポーツ文化センター横浜ラポール、神奈川子ども未来ファンド

●後 援 : 内閣府、神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市、横浜市教育委員会、

川崎市、川崎市教育委員会、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売

新聞横浜支局、FMヨコハマ、TVK (テレビ神奈川)

●協 賛 : 神奈川福祉事業協会、(財)神奈川県経営者福祉振興財団、(株)コニカ・ミノルタ

テクノ東京、(株)SITトラベル

【展示・広報参加】

1 たまたま子育てまつり(ブース出展)

●開催日程: 2004年9月19日(日)

●会場: 川崎市多摩市民館

●主 催 : たまたま子育てまつり実行委員会

2 子育てメッセ in ふじさわ (ブース出展)

●開催日程: 2004年11月13日(土)

●会 場 : 湘南台公民館

●主 催 : 藤沢市

3 次世代育成行動計画策定セミナー(パンフレット配布)

●開催日程: 2004年12月6日(月)

●会 場 : 日経ホール

●主 催 : ㈱赤ちゃんとママ社

4 次世代育成フォーラム (パンフレット配布)

●開催日程: 2005年2月10日(木)

●会 場 : 横浜情報文化センター

●主 催 : 神奈川県

5 企業の地域貢献セミナー (パンフレット配布)

●開催日程: 2005年2月17日(木)

●会場: 横浜市中区福祉保健活動拠点

●主 催 : 横浜市社会福祉協議会

6 次世代育成における「企業」と「NPO」の協働推進フォーラム(ブース出展)

●開催日程: 2005年3月2日(水)

●会 場 : 弘済会館

●主 催 : 日本フィランソロピー協会

7 第3回市民自治創造・かわさきフォーラム (ブース出展)

●開催日程: 2005年3月12・13日(土・日)

●会 場 : 川崎市中小企業・婦人会館

●主 催 : 第3回市民自治創造・かわさきフォーラム実行委員会/川崎市

◆新聞記事掲載 13件(神奈川新聞、朝日新聞、毎日新聞、東京新聞)

(3) 広報紙発行・WEBサイトの充実

助成対象団体を始めとする県内の子ども・若者や子育てにかかわるNPOの活動、ファンドへの寄付協力

者を紹介する広報紙を創刊し、ファンドの活動報告や協力をよびかけるツールとして活用しました。また、WEBサイトの構成見直しを行い、寄付、助成応募、団体情報収集など、必要な情報にアクセスしやすくしました。 (2004年度アクセス数約8,400件)

◆ 広報紙「ハンズ to ハンズ」創刊号~5号 各3,000 部発行

(独立行政法人福祉医療機構助成事業)

【2004年度の寄付協力】

【2004 年度の奇付協力】		
種別	金額	主な内訳
チャリティイベント協賛・収益	¥1,082,67	200 4/8/25 映画ハードル上映会
		2004/10/10 ブレーメンオータムフェスタ
		2005/1/15 親子で happy!横浜フェスタ2005 2005/2/27 チャリティ懇親会(情報箱開設記念)
		<協賛組織>
		·神奈川県経営者福祉振興財団·神奈川福祉事業協会
		・(有)アリタ・SITトラベル(株)・コニカミノルタテクノ東京(株)
職域募金	¥1,054,33	(株)有隣堂・(株)飾一・三井住友海上火災・スマイルハートクラブ 川崎市職員労働組合・神奈川県高等学校教職員組合
映画製作連携	¥151,600	子ども未来サポート会議・よこはま
マイバッグ持参連動寄付	¥27,695	モトスミ・ブレーメン通り商店街
書籍売り上げ一部寄付	¥17,263	児童書作家 青木和雄氏·吉富多美氏
カンパ・イベント寄付	¥459,380	(社)日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会
		NPO全国ラブラドール愛好会・藤沢ライオネスクラブ
		井田協友会・井田みすぎ子ども会
募金箱	¥348,403	横浜市庁舎食堂・高津飲食店行組合等 34カ所分 ベイスターズフェスタ・戸塚区映画上映会
現物寄付	¥41,465	(有)永恒貿易ほか

		(販売協力:福祉を考える会、片倉うさぎ山公園遊び場管理運営委員会)		
コーヒー募金	¥180,550	2004年7月~ 年度末登録者56名		
個人寄付	¥249,120	23件		
合 計	¥3,612,48			
	1			

2. 民間非営利組織への助成・技術支援

(1) 2004年助成対象団体への技術支援

運営促進助成対象団体に助成を効果的に活用してもらうことを目的に実施をしました。また、活動の 意義は認められたものの、助成対象とできなかった一次選考に残った団体も、ファンドへの関心をつな ぎ再応募にそなえてもらうために、技術支援の対象としました。支援を希望した4団体が、経理・労務 事務や、法人格取得事務等についての支援を受けました。

●対 象: 2004 年度運営促進助成対象団体と第一次選考に残った運営促進助成応募団体 (希望団体のみ)

●内容: NPO実務(会計・税務・労務)を中心とした組織運営に関する相談

●方 法: 団体の希望に応じて、以下の専門家から1名が、団体を訪問。 相談、アドバイスを行う。(ファンド事務局が同行)

<相談対応をいただいた専門家の方々>

* 早坂毅氏(税理士)

* 細野由美子氏(税理士)

* 堀真一郎氏(社会保険労務士·中小企業診断士)

(2) 2005年選考委員会設置と選考

各方面の専門家から 2005 年神奈川子ども未来ファンド助成選考委員を選定し(*注)、選考委員会にて 選考基準、選考方法を決定の後、対象団体の選考を行いました。

*注:選考委員の選定は、2004年度より総会議決事項となりました。

【2005年度助成選考委員】

委員長: 岩宮陽子氏(㈱飾一代表取締役社長)

副委員長: 伊藤聡子氏((財)日本国際交流センターチーフプログラムオフィサー)

委 員:鈴木祐司氏((特)青少年育成支援フォーラム国内事業統括)

柴田愛子氏(絵本作家・(有)りんごの木代表)

小村陽子氏(横浜弁護士会「子どもの権利委員会」委員)

斎田順一氏((社)横浜青年会議所2005年度財政顧問)

(3) 2005年助成対象団体の決定と実施

2005年助成(総額200万円)を県内NPOへ広く広報し、助成説明会を平日午前・平日夜間の2回開催しました。応募15団体から選考委員会答申に基づき、運営促進助成として5団体に総額175万円、事業費助成として3団体に総額25万円を助成することを決定し、次ページの通り助成を行いました。

【2005年度助成対象団体】

【運営促進助成】5団体 助成総額1,750,000円

	団体名	事業内容 < >内活動領域	都市名	助成金額
1	<新>ウエスト神奈川女性の人権を守る会	<dv 被害者のシェルター=""> 心身ともに傷ついた子どもへの支援とケア</dv>	西湘地区	400,000
2	片倉うさぎ山公園遊び場管理運営委員会	<プレーパーク活動> 子どもが輝く遊び場づくり	横浜	400,000
3	(特)楠の木学園	<障がい児・不登校の子どものフリースクール> ゆとりを持って働ける環境に	横浜	300,000
4	(特)び一のび一の	<乳幼児親子のサロン活動> ひろばファシリテーター養成による環境の充実	横浜	150,000
5	(特)ままとんきっず	<乳幼児親子のサロン活動> 人材育成の促進と安定した運営のための資金 確保	川崎	500,000
		UPP INT		
	*1は新規助成、2~5は継続助成		計	1,750,000

【事業費助成】3団体 助成総額250,000円

	団体名	事業内容	都市名	助成金額
1	(特)Ethnic JAPAN	多文化共生実現のための活動	横浜	50,000
2	鎌倉中央公園を育てる市民の会	小中学生の谷戸体験学習の継続	鎌倉	150,000
3	ボランティアグループ未来	不登校の子どものための進路相談会	横須賀	50,000
			計	250,000

3. 子ども・若者、子育てに関する情報収集・活動調査と情報提供

県内の子ども・若者や子育てに関わる人を支える民間非営利組織に関する情報収集を行いました。特に今年度は、居場所の提供や相談事業を行っている非営利団体の情報を集め、子どもファンドWEBサイト上に団体検索ができるデータベース「子どもの居場所情報箱」を設置しました。

(1) 「子どもの居場所情報箱」の設置(独立行政法人福祉医療機構助成事業)

孤立しがちな子育で・子育ちを支えるために具体的に集い、相談等ができる「場(機会)」を必要としている親や子に、「場」の存在を伝えることを主目的に、子どもの居場所情報を検索できるデータベースサイト「子どもの居場所情報箱」を設置しました。

情報箱の企画検討には、神奈川県内で活動するNPO関係者の他に、乳幼児・学齢期・青年期の親、高校生、大学生等、利用者側の視点でご意見いただける方々のご協力もいただきました。

<検討過程でご意見をいただいた方々>

井深 旦子氏(金沢虹の会、思春期問題研究会)

岩田 充功氏 (ユースサポートネット・リロード)

佐藤 洋子氏 ((特)こども応援ネットワーク、アンダンテ)

金子美津子氏 (ちゃおNET、親子のひろばまんま)

橋本ミチ子氏 (鯛が崎プレーパーク、かながわ子育てネットワーク)

坂本 寿子氏(乳幼児・学齢期の親・よこはま1万人子育てフォーラム)

刀袮いずみ氏 (かながわユースボランティアりんぐファクトリー)

園田 史代 氏 (高校生、かながわユースボランティアりんぐファクトリー

岩永 好史氏 (大学生、ファンドサポーター)

西潟 純一 氏(「非行」を考える道草の会、ファンド理事)

(2) 「子どもの居場所情報箱」開設記念講演会の開催(独立行政法人福祉医療機構助成事業)

データベース「子どもの居場所情報箱」の完成を記念して、子育て・子育ち支援が、乳幼児・学齢期と わかれることなくネットワークし、孤立しない子育て、子育ちをめざすきっかけとなることをねらい として開設記念講演会を開催しました。

●開催日程: 2005年2月27日(土) 13~16時半

●会場: エルパイネ老松会館多目的ホール

●内容: 1)講演「子どもの育ちを支える地域ネットワーク 汐見稔幸氏(東京大学大学院教育研究科教授)

2)対談「孤立しない子育て・子育ち」

柴田愛子氏(りんごの木代表)

西野博之 (フリースペースたまりば理事長・ファンド理事長)

3) ファンドと「子どもの居場所情報箱」の紹介

*終了後チャリティ懇親会を開催

●参加者数: のべ150名

●後 援 : 独立行政法人福祉医療機構、神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市、

川崎市、川崎市教育委員会、

●懇親会協賛: (株) かをり商事

【参考】 理事が関わる団体、ファンド事務局は、以下のような各種審議会・委員・ネットワークへ 参画している。

総務省・「少子化対策に関する政策評価」にかかる研究会委員

長寿社会文化協会 地域三世代子育て支援委員会委員

日本フリースクール協会理事長

フリースクール全国ネットワーク

つどいの広場全国協議会世話人

神奈川県青少年問題協議会副会長

神奈川県青少年サポートプラザ相談員・NPO支援アドバイザー

神奈川県税と暮らしを考える専門部会委員

引きこもりの青少年とその家族支援協働事業(神奈川県)

かながわ思春期サポート懇談会世話人

神奈川県フリースクール・フリースペースネットワーク会議

かながわ子育てネットワーク

かわさき教育プラン策定委員会・学校教育専門部会委員

川崎市子どもの権利委員会委員

川崎市子ども夢パーク運営委員

川崎市子ども夢パークにおける不登校児童生徒に関する協議会

横浜市次世代育成支援行動計画策定委員会委員

横浜市児童福祉審議会委員

横浜市地域福祉計画策定推進委員会委員

横浜市経済活性化懇談会委員

横浜市男女共同参画審議会委員

横浜市親と子のつどいの広場事業運営協議会委員

横浜子ども支援協議会副代表

横浜子ども各界連

よこはま1万人子育てフォーラム世話人

港北区親子の居場所支援者連絡会